

インターバンクの声（2015 年 5 月 26 日）

昨夜はロンドン市場がスプリング・バンク・ホリデー、ニューヨーク市場もメモリアル・デーによる休場とあって、ドル/円は121円台中盤、ユーロ/ドルが1.09ドル台後半を時間の経過と共に動きがほとんどなくなる展開となった。当然、主要市場が休場とあって、目立ったニュースもなかったようだが、一部の市場参加者の間では27日から始まる主要7ヵ国（G7）財務相・中央銀行総裁会議での議題を気にする動きもあるようだ。世界経済の見通しや世界経済が直面するリスク、そして景気回復を強化する方策などについて協議されるようだが、具体的にはギリシャの支援問題、ウクライナ情勢、アジアインフラ投資銀行（AIIB）への対応などが中心議題になりそうだ。それにしても、かつては主要5ヵ国で始まったG5がG7となり、ロシアが加わってG8になったと思っていたらウクライナ問題の制裁から追放されてしまい、再びG7に逆戻りだ。冷戦構造時代に当然ながら西側先進国が構成国となって始まった会議だが、時代が再び緊張が高まる情勢になったからと言って、ロシアや中国抜きでの会議にどこまで影響力があるのか理解し難いが、それが国際政治なのだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。